

夏季の生ごみの減量化にご協力を

生ごみの水はきちんと切っていますか。一般的には、生ごみのうち約80%が水分といわれています。こういった水分の多いごみが増えますと、焼却炉での燃焼効率が大変悪くなり、処理費用もかさむこととなります。特に、夏季は、スイカ・桃・梨などの水分を多く含む食べ物が大量に消費され、生ごみの量が増加し、燃えるごみの一部として大量に出されます。「ごみ出しが重い」、「汁がたれて汚れる」、「臭いに困っている」などの問題も発生しがちとなります。そこで、これを解決するには、生ごみの徹底した水切りが有効です。

1. 生ごみは、濡らさないようにしましょう

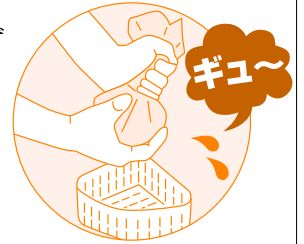
➡ボウルやかごを水のかからないところにおき、調理くずを濡らさないようにしましょう。

2. 最後にもうひとしぼりしましょう

➡三角コーナーや水切り袋を使って自然に切れる水分の量は、ごくわずかです。捨てる前に次の方法で、もうひとしぼりをしてみませんか。

- ・手でしぼる
- ・三角コーナーの生ごみはびんの底などで押す
- ・新聞紙を使い、生ごみをくるむようにして水分を吸収する

なお、生ごみ処理機器を利用して堆肥化する場合も、悪臭防止などのため、生ごみの水切りは重要ですので、ぜひ実行してください。



雑草、剪定枝はよく乾燥を

夏季は雑草や剪定（せんてい）枝などもごみとしてよく出される時期です。そこで、雑草や剪定枝などは、堆肥化（腐葉土化）して各家庭で利用していただくか、ごみとして出す場合は、天日干しなどにより、よく乾燥させてから出してください。

皆さんの協力をお願いします

市民の皆さん一人ひとりの行動で、夏季の燃えるごみの量を大幅に減らすことができますので、ご協力をよろしくお願いします。既に生ごみ処理機器を利用したり、雑草や剪定枝などを堆肥化するなど自家処理を実施されている方は、引き続きお願いします。

資源ごみ・燃えないごみ・有害ごみは品目ごとに2台の車両で収集しています

品目によって収集する車両・時間が異なります。例えば、ペットボトル、紙類、空きカンの収集日に、ペットボトル、紙類が残っている場合でも、空きカンは、収集が済んでいることがあります。ごみは、必ず午前8時までに出してください。

	車両①	車両②
収集の組み合わせ	ペットボトル、紙類	空きカン
	衣類、ダンボール	燃えないごみ
	ペットボトル、紙類	空きビン
	衣類、新聞紙	紙パック、白色トレイ、有害ごみ



注意！

訪問販売・振り込め詐欺に
注意しましょう。

困ったときは、お電話してください。お近くの相談窓口につながります。

☎0570(064)370
《消費者ホットライン》

■受付日時 月～金曜日（祝日除く）
午前9時～午後4時

■連絡先 佐野市消費生活センター
佐野市田沼町974-1
(田沼庁舎内) ☎(61)1161

▼相談受付日時 月～金曜日（祝日を除く）
午前8時30分～正午、午後1時～4時30分

▼問い合わせ先 財務省関東財務局宇都宮財務事務所 ☎028(633)6221（代表）
電話ください。
▼問合わせ先 財務省関東財務局宇都宮財務事務所 ☎028(633)6221（代表）
費用は無料で、個人の秘密は堅く守られます。相談をお聞きした後、必要に応じて法律専門家をご紹介します。まずは気軽にお電話ください。

多重債務でお悩みの方へ

消費者情報「64」